

第2期印南町子ども・子育て支援事業計画
「ときめく子どもたちの未来のために」

資 料 編

資料編

1. 印南町子ども・子育て会議条例

平成 25 年 9 月 25 日

条例第 21 号

(設置)

第 1 条 子ども・子育て支援法(平成 24 年法律第 65 号。次条第 2 項において「法」という。)第 77 条第 1 項の規定に基づき、同項の合議制の機関として、印南町子ども・子育て会議(以下「会議」という。)を置く。

(組織)

第 2 条 会議は、委員 15 人以内で組織する。

2 委員は、次の各号に掲げる者について町長が任命する。

- (1) 子どもの保護者(法第 6 条第 1 項に規定する子どもの保護者(同条第 2 項に規定する保護者をいう。)をいう。)
- (2) 子ども・子育て支援に関する事業に従事する者
- (3) 子ども・子育て支援に関し学識経験のある者
- (4) その他町長が適当と認める者

(委員の任期)

第 3 条 会議の委員の任期は、2 年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることができる。

(会長)

第 4 条 会議に、会長を置き、委員の互選により選任する。

2 会長は会務を総理し、会議を代表する。

3 会長に事故があるときは、あらかじめその指定する委員が、その職務を代理する。

(会議)

第 5 条 会議は、会長が招集し、その議長となる。

2 会議は、委員の過半数が出席しなければ、会議を開き、議決することができない。

3 会議の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(庶務)

第 6 条 会議の庶務は、教育委員会教育課において処理する。

(会議の運営)

第 7 条 この条例に定めるもののほか、会議の運営に関し必要な事項は、会長が会議に諮って定める。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、公布の日から施行する。

(印南町報酬及び費用弁償条例の一部改正)

2 印南町報酬及び費用弁償条例(昭和 33 年条例第 6 号)の一部を次のように改正する。

〔次のよう〕略

2. 委員名簿

印南町子ども・子育て会議委員〔任期：令和元年8月8日～令和3年8月7日〕

No.	氏名	所属・役職
1	森尾 正稔	印南町社会福祉協議会々長
2	藤川 誠	校長会代表〔印南小学校長〕
3	木村 正直	いなみこども園〔園長〕
4	久保井 千代	印南町主任民生児童委員
5	清水 清子	印南町母子保健推進員代表
6	小山 亨	元印南幼稚園々長
7	塩路 美也	印南町学童クラブ指導員代表
8	中田 智子	印南町子育てアドバイザー
9	早田 愛	いなみこども園〔統括主任保育教諭〕
10	竹村 信哉	印南町PTA連絡協議会々長
11	藁科 恭平	いなみこども園保護者会々長
12	山根 順予	子育てサークル代表〔さくらんぼ〕
13	木村 理佐	母親代表〔ひまわり教室〕
14	中家 清美	印南町母子保健担当保健師

3. アンケート調査結果

本計画の策定に先立ち、就学前児童と小学生の保護者の子育ての実態や保育・子育て等に関するニーズ、日常生活等の実態を把握し、計画に反映させるため「印南町子ども・子育て支援に関するアンケート調査」を実施しました。

【調査の目的】

国では、子ども・子育て支援法に基づき、新たな子ども・子育て支援の制度を平成27年度から実施しています。町では、新しい制度のもと、より子育てしやすい環境づくりを進めるために「第2期印南町子ども・子育て支援事業計画」の策定に当たり、子育て家庭の現状及びニーズを把握し、基礎資料とするため、本調査を実施しました。

【調査の対象と方法】

○調査対象・調査方法

対 象	調査方法
就学前児童・小学生のいるすべての世帯を対象にその保護者に回答を依頼。	就学前児童保護者用、小学生保護者用の2種の調査票で実施。認定こども園、小学校を通じて配布し、未就園児の家庭には郵送で実施。

○調査時期

令和元年8月29日（木）～9月13日（金）

○配布回収状況

	配布数（件）	回収数（件）	回収率（％）
就学前児童	312	181	58.0
小学生	297	181	60.9

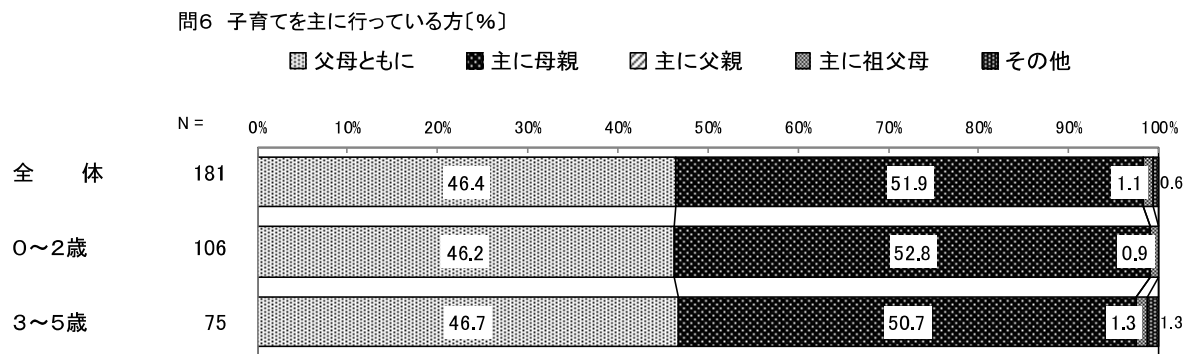
（１）子育てと家族の環境

①主な育児者

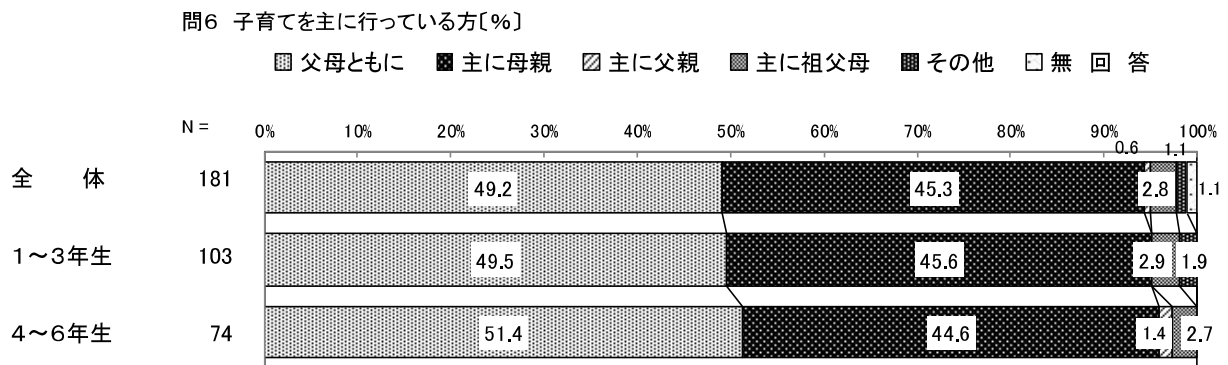
就学前児童では、「主に母親」が51.9%と多く、「父母ともに」が46.4%、「主に祖父母」が1.1%となっています。

小学生では、「父母ともに」が49.2%、「主に母親」が45.3%と多く、「主に祖父母」が2.8%となっています。

○就学前児童における主な育児者



○小学生における主な育児者



②日頃子どもをみてもらえる親族・知人

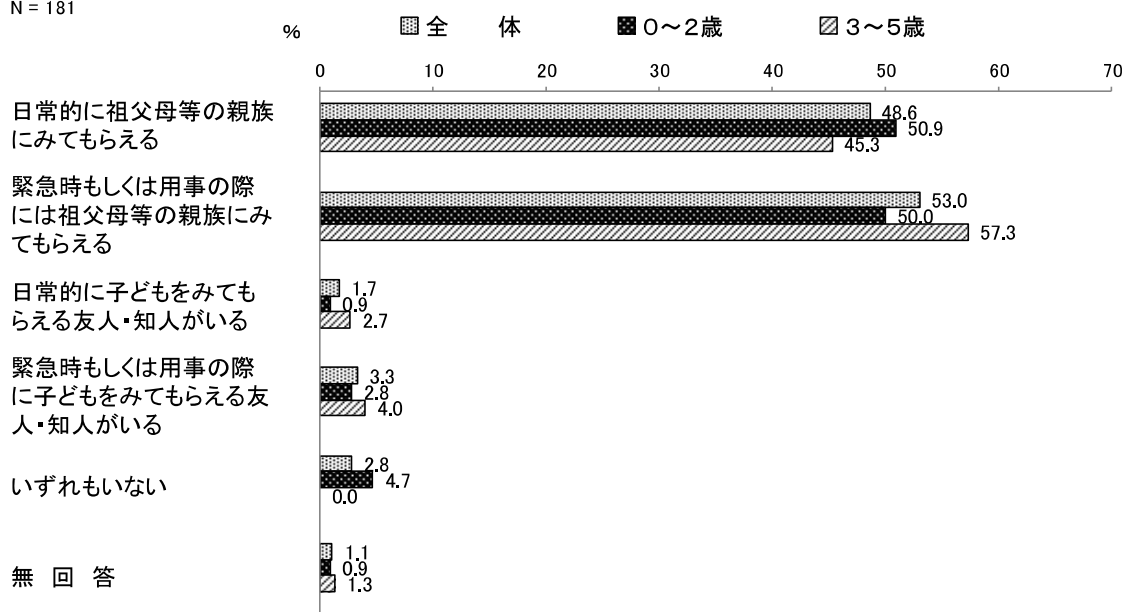
就学前児童では、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が53.0%で最も多く、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が48.6%となっています。

小学生では、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が49.7%で最も多く、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が41.4%となっています。

○就学前児童における日頃子どもを預かってもらえる人

問9 日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人〔%・複数回答〕

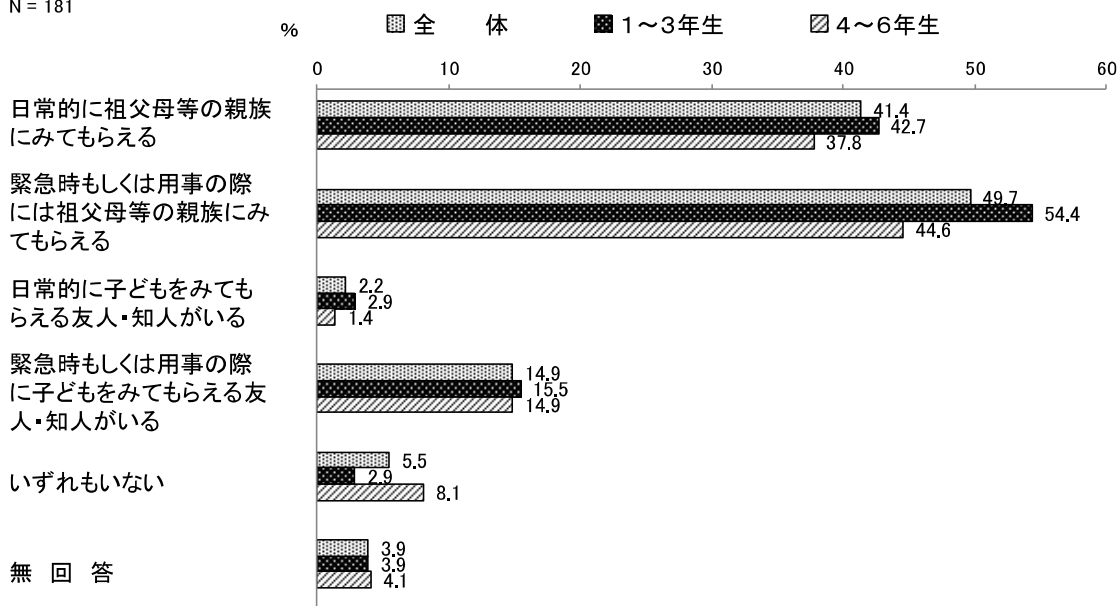
N = 181



○小学生における日頃子どもを預かってもらえる人

問8 日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人〔%・複数回答〕

N = 181



③子育ての相談相手

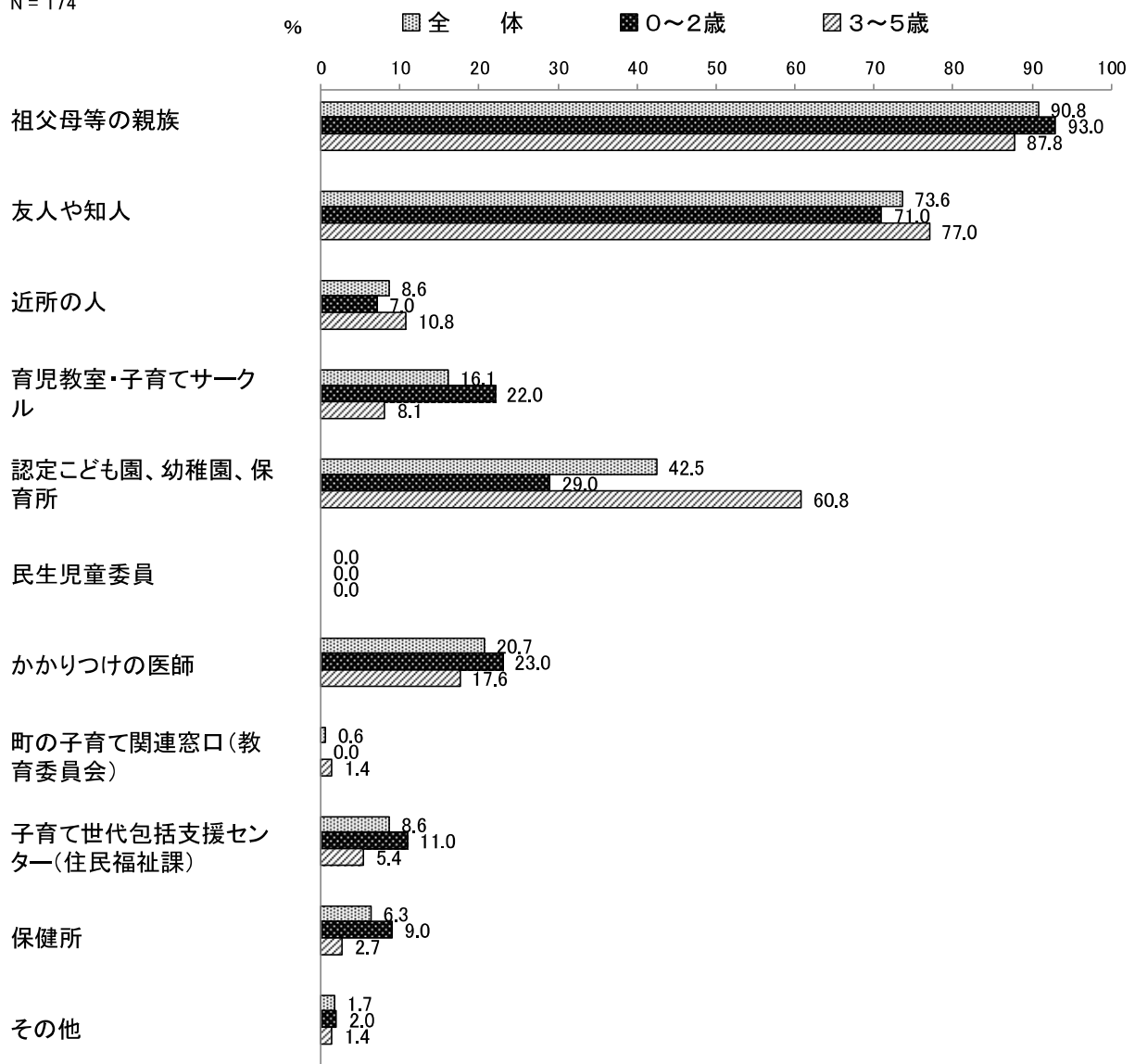
就学前児童では、「祖父母等の親族」が90.8%、「友人や知人」が73.6%と多数を占め、「認定こども園、幼稚園、保育所」が42.5%、「かかりつけの医師」が20.7%、「育児教室・子育てサークル」が16.1%で続いています。

小学生では、「友人や知人」が81.2%、「祖父母等の親族」が79.4%と多数を占め、「小学校」が33.3%、「かかりつけの医師」が11.5%、「近所の人」が8.5%で続いています。

○就学前児童における子育ての相談相手

問10-1 気軽に相談できる先〔%・複数回答〕

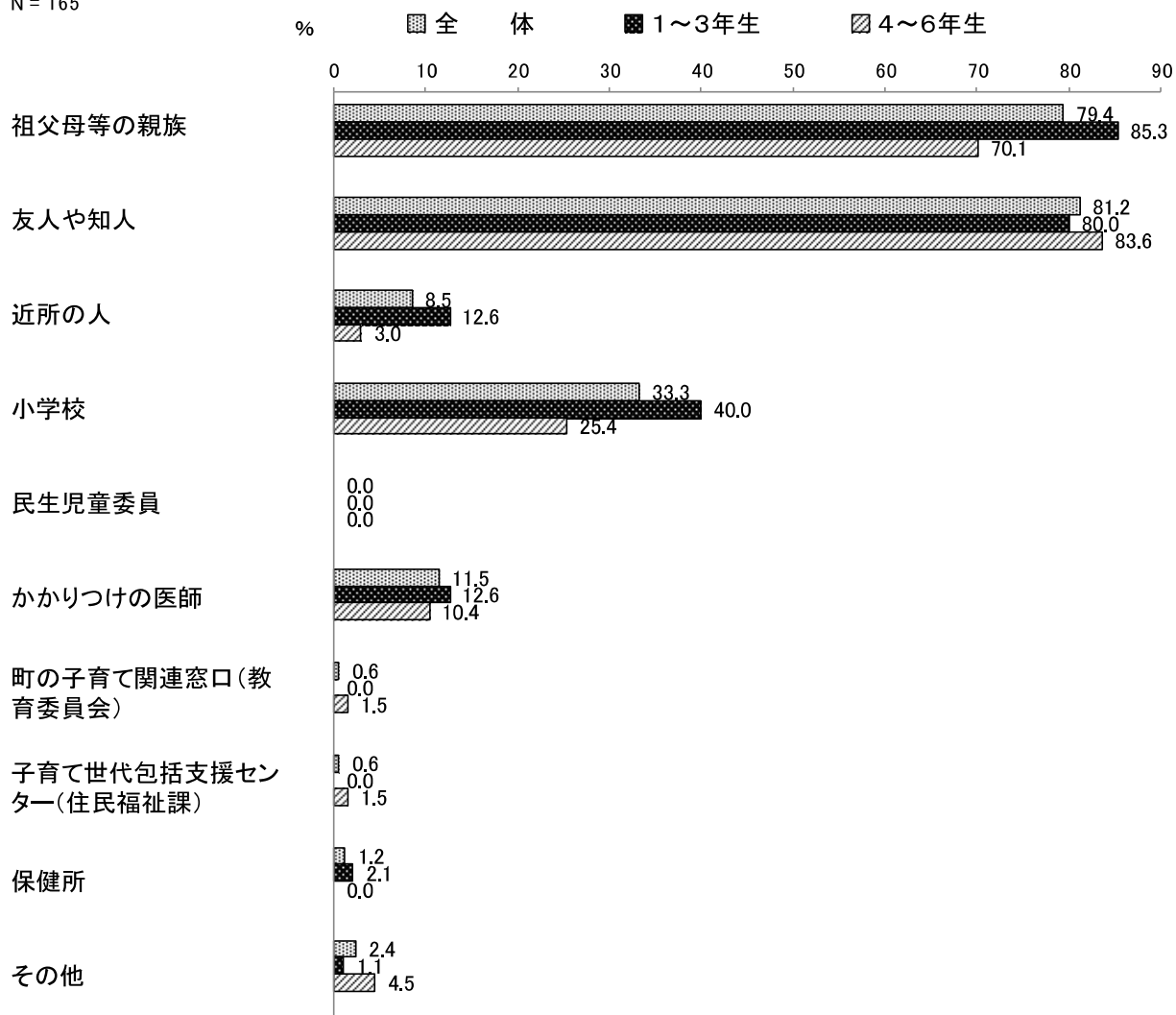
N = 174



○小学生における子育ての相談相手

問9ー1 気軽に相談できる先〔%・複数回答〕

N = 165



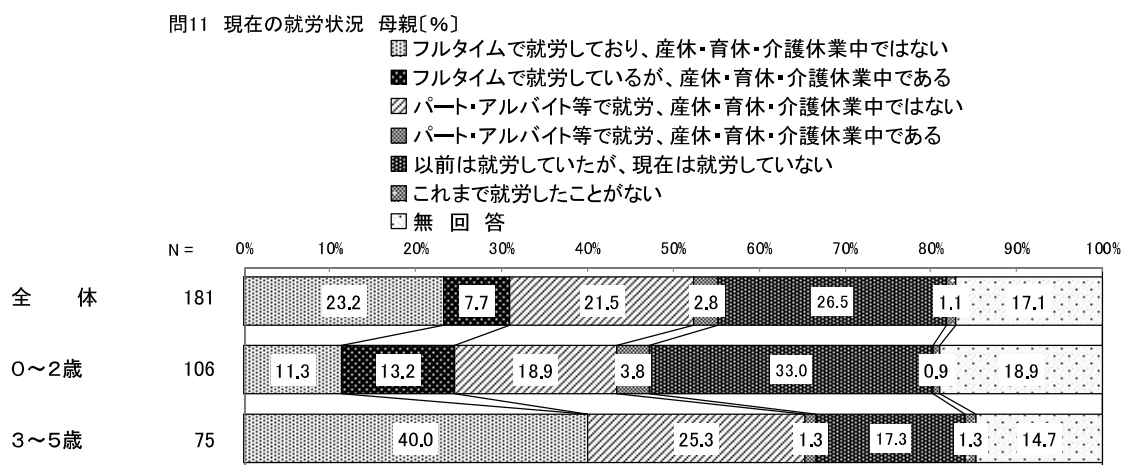
(2) 子育て家庭における就労環境

①母親の就労状況

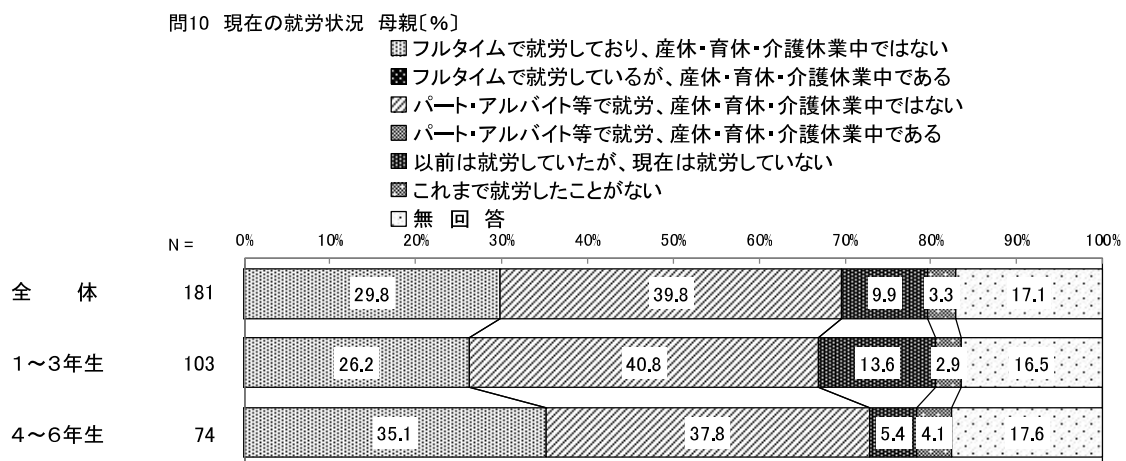
就学前児童では、無回答が多く、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が26.5%、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が23.2%、「パート・アルバイト等で就労、産休・育休・介護休業中ではない」が21.5%、「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」が7.7%、「パート・アルバイト等で就労、産休・育休・介護休業中である」が2.8%、「これまで就労したことがない」が1.1%となっています。就労者は合わせて55.2%、産休・育休・介護休業中の就労者は合わせて10.5%となり、全就労者の約19%に当たります。

小学生では、無回答が多く、「パート・アルバイト等で就労、産休・育休・介護休業中ではない」が39.8%と最も多く、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が29.8%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が9.9%、「これまで就労したことがない」が3.3%となっています。

○就学前児童の母親の就労状況



○小学生の母親の就労状況

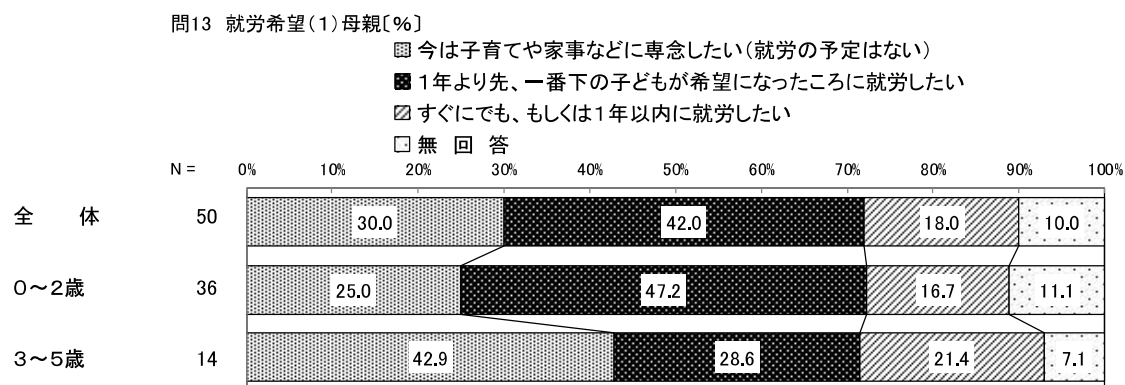


②就労希望(現在未就労の母親)

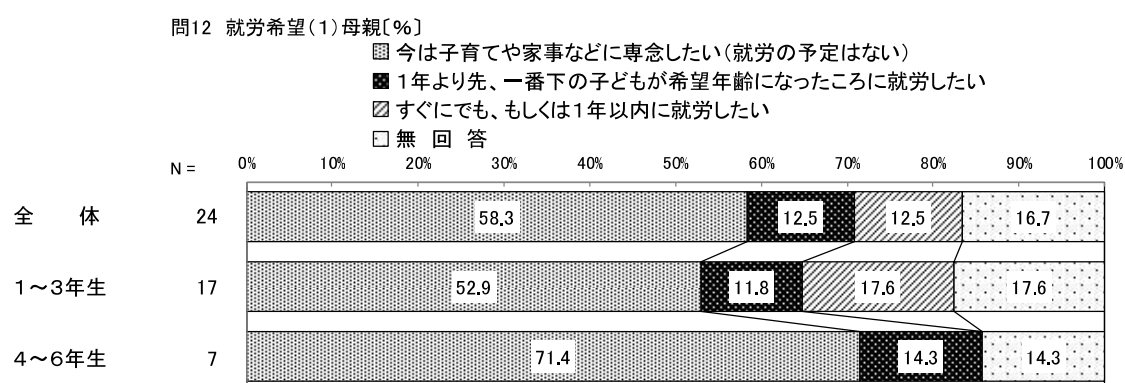
就学前児童の母親では、「1年より先、一番下の子どもが希望(年齢)になったところに就労したい」が42.0%と最も多く、一番下の子どもの年齢は「2、3歳」が81.0%と多くなっています。ついで「今は子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」が30.0%、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が18.0%と続いています。就労したい人の合計は60.0%です。

小学生の母親では、「今は子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」が58.3%と最も多く、「1年より先、一番下の子どもが希望年齢になったところに就労したい」と「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」がともに12.5%で、一番下の子どもの年齢は「6歳以上」が66.7%と多くなっています。就労したい人の合計は25.0%です。

○現在、未就労の就学前母親の就労希望



○現在、未就労の小学生の母親の就労希望



（３）就学前児童の保育・教育現況

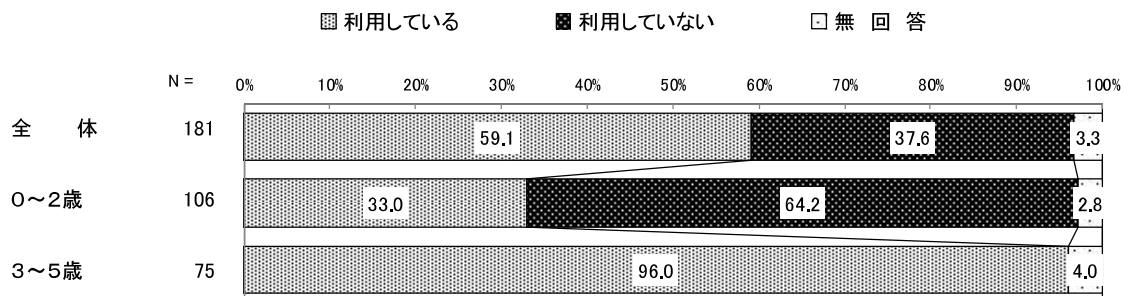
①平日の定期的な保育・教育事業の利用状況

「利用している」が59.1%、「利用していない」が37.6%です。年齢別では、3～5歳では「利用している」がほぼ全員の96.0%であるのに対し、0～2歳では33.0%と少なくなっています。

利用している保育・教育事業は、「認定こども園（長時間保育）」が89.7%と多数を占め、大幅に下がって「認定こども園（短時間保育）」が6.5%、「保育所」が2.8%、「事業所内保育所・院内保育所」が0.9%と続いています。

○平日の定期的な保育・教育事業の利用状況

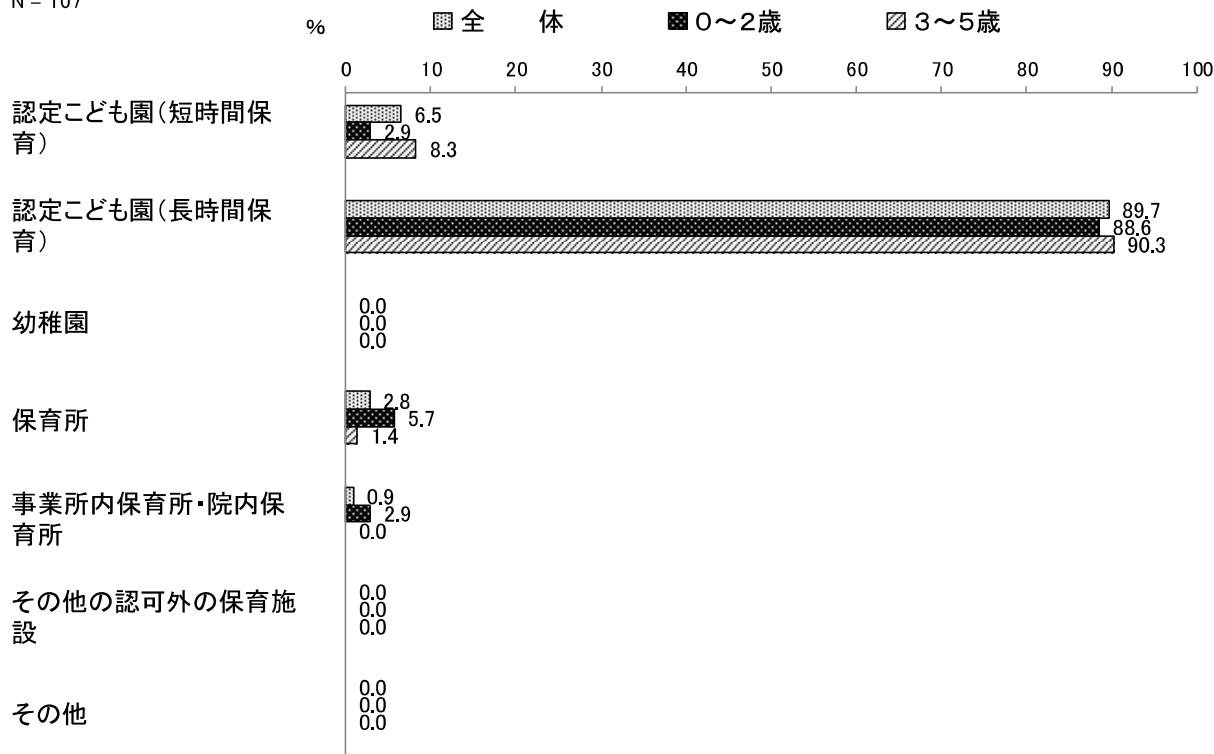
問14 定期的な教育・保育施設等の利用有無[%]



○平日に定期的に利用している保育・教育事業

問14-1 平日の定期的な教育・保育利用状況[%・複数回答]

N = 107

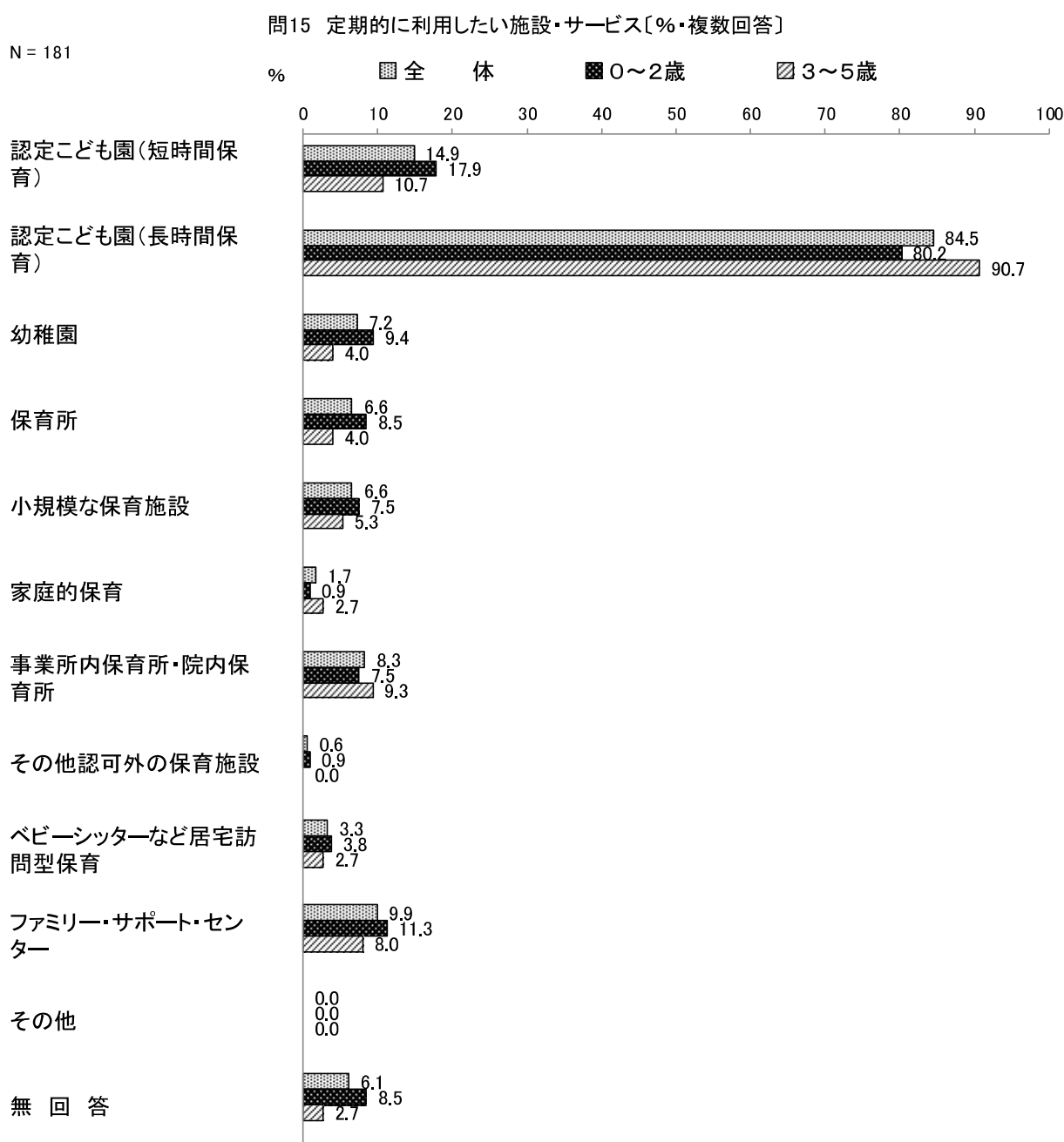


（４）就学前児童の今後の保育・教育事業利用希望

①今後の保育・教育事業の利用希望先

「認定こども園（長時間保育）」が84.5%で最も多く、大幅に下がって「認定こども園（短時間保育）」が14.9%、「ファミリー・サポート・センター」が9.9%、「事業所内保育所・院内保育所」が8.3%、「幼稚園」が7.2%、「保育所」と「小規模な保育施設」がともに6.6%で続いています。

○今後の保育・教育事業の利用希望先

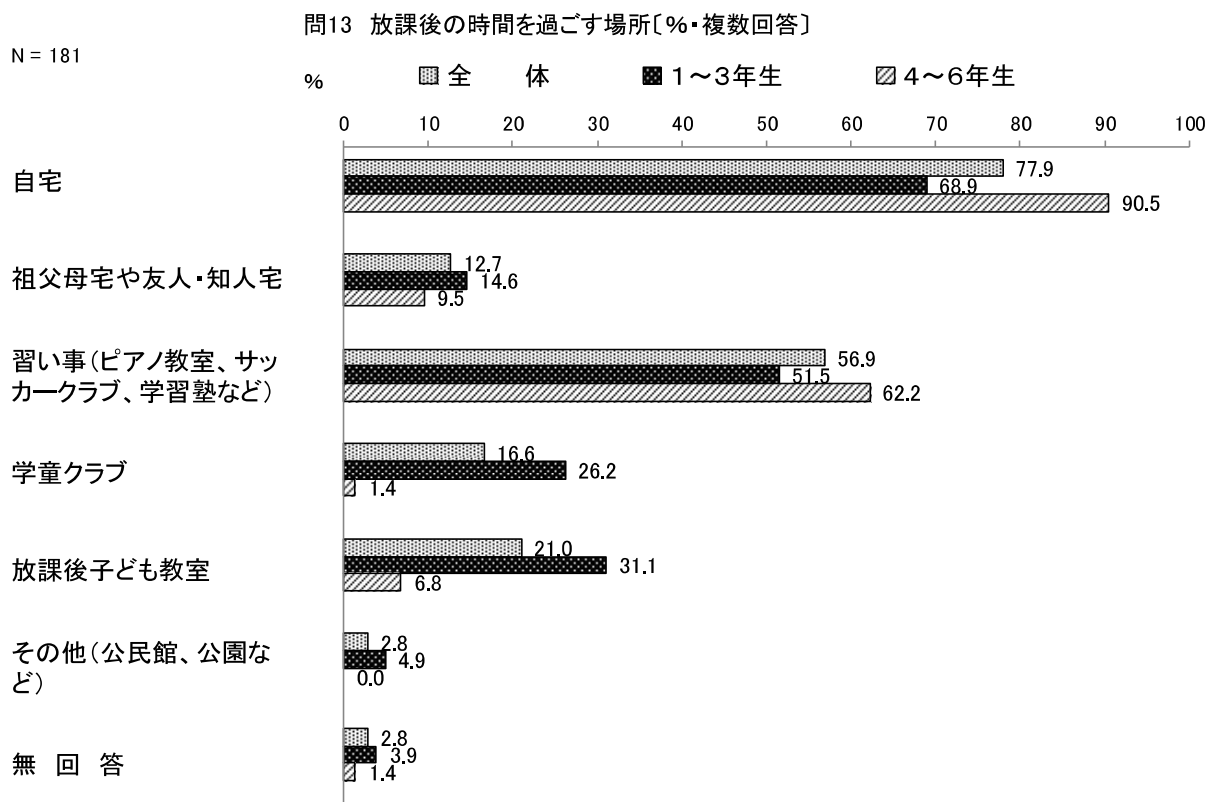


（５）小学生の放課後の保育・教育状況

①放課後の過ごし方

「自宅」が77.9%で最も多く、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が56.9%、「放課後子ども教室」が21.0%、「学童クラブ」が16.6%、「祖父母宅や友人・知人宅」が12.7%と続いています。

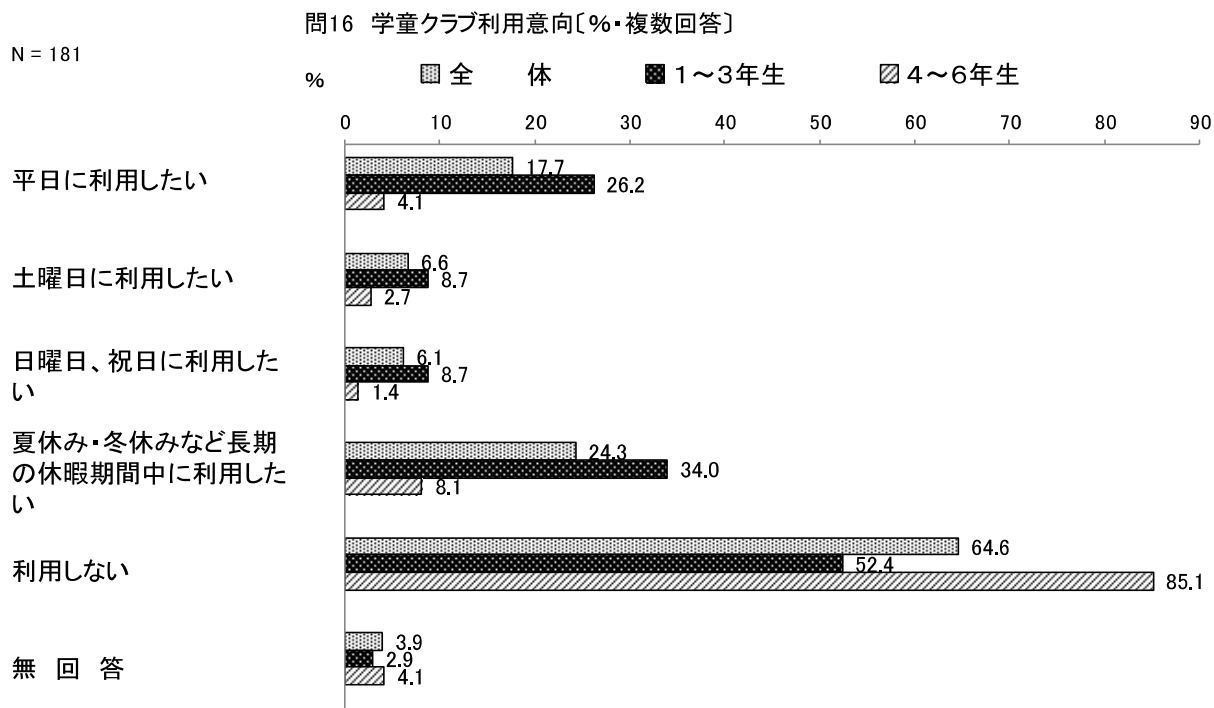
○放課後の過ごし方



②放課後児童クラブの今後の利用意向

「利用しない」が64.6%と多く、「夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中に利用したい」が24.3%、「平日に利用したい」が17.7%となっています。

○放課後児童クラブの今後の利用意向

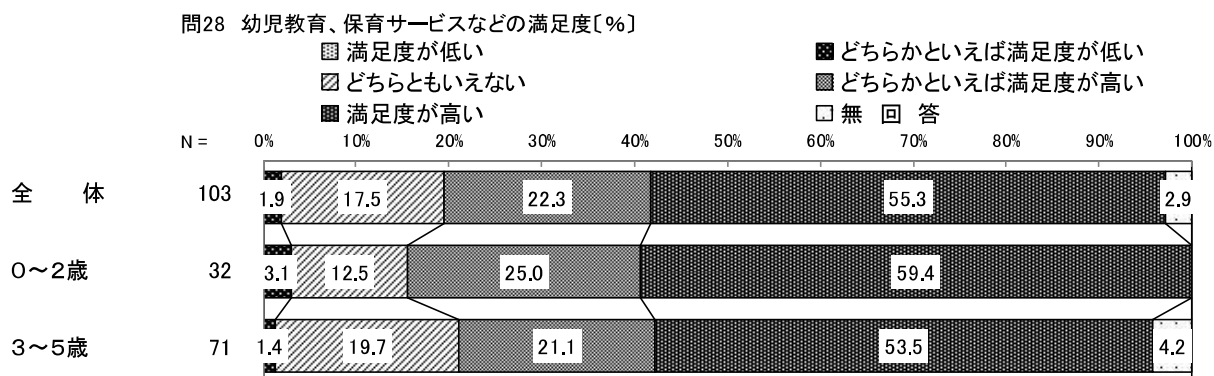


(6) 満足度

①認定こども園「いなみこども園」の満足度

「満足度5」が55.3%で最も多く、「満足度4」が22.3%となっており、満足度4と5（満足度高い）の合計は77.6%と、8割近くが高い満足度を示しています。「満足度3」は17.5%、「満足度2」が1.9%となっています。

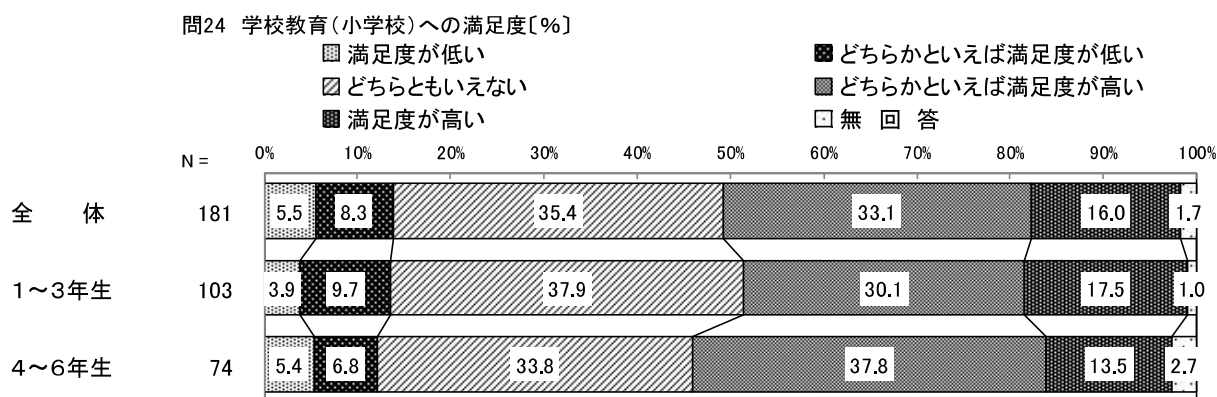
○認定こども園「いなみこども園」の満足度



②学校教育への満足度

「満足度3」が35.4%で最も多く、「満足度4」が33.1%、「満足度5」が16.0%と続いています。満足度4と5（満足度高い）の合計は49.1%となり、半数近くが高い満足度を示しています。「満足度2」は8.3%、「満足度1」が5.5%となっています。

○学校教育への満足度

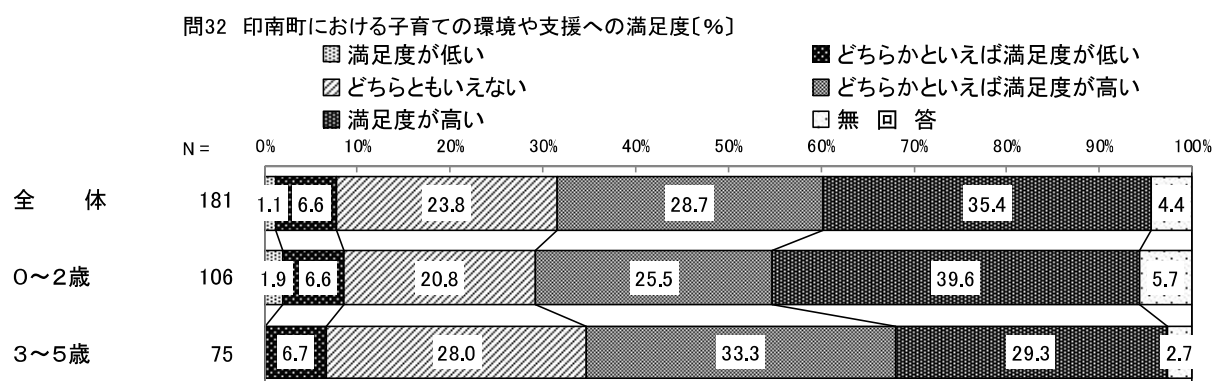


③子育ての環境や支援への満足度

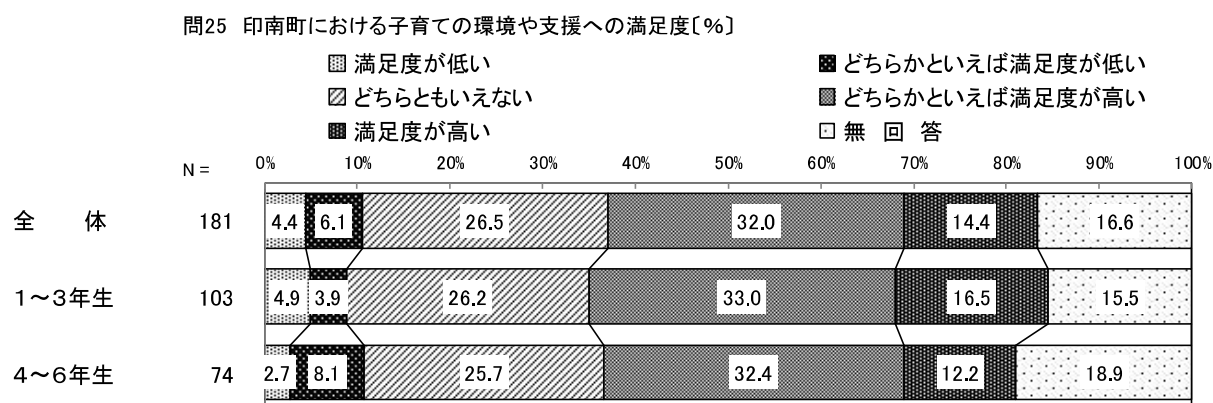
就学前児童では、「満足度5」が35.4%で最も多く、「満足度4」が28.7%となっており、満足度4と5（満足度高い）の合計は64.1%と、6割を超えて高い満足度を示しています。「満足度3」は23.8%、「満足度2」が6.6%、「満足度1」が1.1%となっています。

小学生では、「満足度5」が32.0%で最も多く、「満足度3」が26.5%、「満足度5」が14.4%と続いています。満足度4と5（満足度高い）の合計は46.4%と、半数近くが高い満足度を示しています。「満足度2」は6.1%、「満足度1」が4.4%となっています。

○就学前児童における子育ての環境や支援への満足度



○小学生における子育ての環境や支援への満足度



④主な自由意見

就学前児童保護者

自由意見
金銭面に関しては保育料無料等大いに満足しているが、支援に対しては満足できない。発達に課題のある子どもに対して半年に1回保健師さんに相談できる機会があるが、それ以外に子どものことで相談できる窓口が印南町内にない。こども園から就学に向けてのアドバイスをもらおうと保健師さんに相談したら、「就学のことはわからないので教育委員会に聞いて」と言われたが、教育委員会に知っている人もなく、行ったこともないので相談しに行きにくい。役場（保健師さんに相談）から教育委員会への連携がきちんととれていないと思う。子育ての相談役の方々にも力を注いでもらえたらありがたい。
小児の一次救急の受け入れを紀南病院でしてもらえないことが非常に不満だ。一刻を争う時に、和歌山市まで行けない。何とかしてほしい。切実にお願する。
私は真妻地区に暮らしており、「印南町」の様々な子育て施策にはとても感謝しているが、子ども（上の子が小学生である）の学童が非常に利用しづらく困っている。簡単に利用したいのだが、夏休みはお弁当をつくって学童までの送迎など、今年もすごく負担になった。清流地区にも学童をつくってもらるか、バスを出してもらいたいと思った。
スポーツをしていると親が関わりすぎることが多いように思う。現在どのスポーツでも小学校は（中学校も）親がついてきて、トラブルも多いので、昔のように監督・コーチにお任せをして、少し子どもと距離をおくことでのびのびとした自立した子ども達に成長するのではないかなと思う（親は送迎のみ）。また、共働きの親であればスポーツはさせにくい（時間的に）。重要：防犯カメラを1キロメートル単位で設置してほしい。紀南病院にも緊急時行けるようにしてほしい。
10月より、国の事業で保育料の無料化が始まるので、0～2歳児の保育料ももう少し安くなると助かる。おむつのゴミ袋配布は、とても助かっている。
こども園の上に高速が通っているが、なぜ壁はつくらないのか。排気ガス等が気になる。新築住宅等取得助成事業を子育て施策とするならば、年齢制限があるのはおかしいと思う（高齢になっても出産する家庭はあると思う）。公園がない。町内に1つでも小目津公園のようなところがほしい。（公園をつくるのはお金がかかるが）お金をかけずにできる事業を考えてほしい。最近目新しい事業があるような気がしないので、ぜひ新しい、よそにないようなことを考えてほしい。
子育てサークルに参加させてもらっている。週1回は少ないかなと思う。印南町で常に子ども達（園に通っていない子）が遊べる場所がなく、困っているお母さんたちが多い。公園以外ないので困る。御坊市では、御坊小学校の1階で遊べる場所があると聞いた。サークルも印南より回数が多いようだ。よろしくお願いします。
小学校の生徒数も4校ではばらつきが大きく、生徒数が少ない学校へ通わせることに不安がある。中学校同様、統合してほしい。
公園がもう少しあればうれしい。できれば0～3歳くらいの子が遊べる遊具がほしい。子育てサークルを週1回や月1回でなくて頻繁にやってほしい。
近隣の市町村にあるような大型遊具がある公園が町内にはない。特に未就園児の親にとっては初めての交流の場となり、子どもも保護者も安心して遊べるような憩いの場がほしいと思う。
紙おむつ廃棄用ゴミ袋は、枚数が減ってもよいので中サイズにしてほしい。町内に保育施設が1ヶ所しかないので、こども園や学童は年中無休にしてほしい。せめて夏期休業はやめてほしい。共働き家庭はどちらかが休まないといけな。保育料無料はうれしい。
新築住宅等取得助成事業の対象にならなかったで、全然よい印象を持ってない。

自由意見

公園や室内で遊べる場所をもっと増やしてほしい。現在2歳の娘をつれて遊べる場所がなく困っている。学童の場所で遊べると聞いたのだが、時間や利用できる場所がよくわからないので本当に遊べるかわからず、利用できていない。もっと情報を出してほしい。有田川町地域交流センターのような、大人も子どもも集える開かれた場所をつくってほしい。

他町の友人より「印南町は子育てしやすい町だ」とうらやましがられることがある。実際本当にそうだと思うし、満足している。これからも安心して子育てできる町であってほしい。

こども園へ入園する前に、プレ保育等こども園へ行く機会を増やしてほしい。半年に一度くらい、子どもの足の大きさを測れる機会がほしい（希望者のみでよい）。

印南町は子育て世代にとってとても住みやすい町だと思う。しかし、町内でも子育て世代が多い地域とそうでない地域の差が激しいように感じる。また公園なども少ないように思う。でも全体として、子育て世代に優しい町でうれしい。

現状として、こども園や町職員の休日出勤・ボランティア活動が多く、負担が大きいと思うので、もう少し職務の負担軽減を検討してほしい。それがさらなる教育活動の充実に繋がると思う。雨の日の居場所（子どもが遊べる場所）がもっとほしい。

不審者情報が毎日のようにあるが、草木が生い茂り死角となる場所が多いように思う。もっと草刈りをして、安全に通学させられるように道路整備をしてほしい。

ブックスタートが毎年あればうれしい。子どもがすごく喜んでいるので、その年に合った絵本を教えてもらえるのはとてもうれしく思う。

暑い夏の間だけでも徒歩で通う小学生たちもバスに乗せてあげてほしい。何か起きてからでは遅い。アンケートはネットでもよいのではないか。紙がもったいない。

子どもを遊ばせる公園や広場があると嬉しい。そこで、町内でのイベント等を行ってもらえると、園を離れても交流することができると思う。

医療費無料化は県内他市町村での実施地区が少ないので、印南町は先進的に取り組んでいると思われる。人材の確保が困難かと思うが、ひまわり教室等の開催回数は月2回位あってもよいのではないかと利用中に思った。いなみっ子交流センターの開放をもっと広報してもよいのではないかと思う。保育士・保健師・子ども園等が今後も連携して、子育て支援を充実させてもらいたいと願う。

義務教育がしっかり受けられるようにしてほしい。体操・運動等、支援する取組があればよい。公園等、遊べるところが少ない。

国保が高い。病院（子ども）が遠くて不便である。毎日通える支援センターがほしい。オムツがとれていない子が入れるプールをつくるか、ビニールプールを持ち込ませてほしい（兄弟で行けない）。

教育委員会全体が、現在の出産・育児・家庭状況を理解してほしい。年配の方ほど考え方が古く、また対応や事業の開始が遅いと感じる。行政がこれでは印南町は発展しない。年配の職員ほど研修を受け、若い職員にフィードバックしてほしい。

働いているので、土曜日の1日保育があればすごく助かる。統合して保育園が1つしかなく、選ぶこともできないので、仕事の関係上どうしても土曜日休めないようなところなら、結局引越しを考えないといけなくなる。

今年5月の10連休は、こども園がずっと休みになったため、仕事に行く際苦労した。祝日等重なり長期の休みになる時は、1日でも2日でも、開園してほしい。フルタイムで仕事をしていると、祝日・土・日関係なく就労しているので、土曜日でも1日保育をお願いしたい。また、保育園で放課後に習い事ができれば、送迎の手間もなく負担が減るのでありがたい。仕事をしていると朝早くから夜まで、帰ってきて食事の支度や家事に追われ、習い事をさせたくても時間の余裕もない。

病児保育を印南町内でつくってほしい。ファミリーサポートをもっと利用しやすくしてほしい。習い事や学童の送り迎えのサービスを充実させてほしい。

自由意見

未就園児を育てているママの行き場が少ない。子育てサークルは週1回で、その次の日は午前中開放している部屋（冷暖房完備）はなく、夏場・冬場・雨天時は孤独を感じる。仕方なく田辺市や御坊市のサポートセンターを利用しに行っているのが現状。役場のどこか、公民館のどこかに、お年寄りとお年寄りが自由に利用できるような場があれば、身内が近くにいないママにもコミュニティを構築していきやすいし、お年寄りの方にも笑顔が生まれると思う。切目の集会場も普段使わずにもったいないと思う。

在宅育児支援助成事業のことを知らなかった。出産前に伝わるとよい。

こども園での就学前学習が他のこども園に比べて少ないと思う。お昼寝が5歳児の秋までであることも長すぎる。

子どもが遊べる公園や児童館があればうれしい。子どもを遊ばせる場所が全くない。土曜日や日曜日にもひまわり教室や読み聞かせがあるとうれしい。母親教室の父親や祖父母向けのものも開催してほしい。検討よろしくお願いします。

現在、私どもには2歳と8か月の子どもがいるが、下の子どもの育児休暇取得中である。それによって上の子どものこども園に預けようとしたが、育児休暇中ということで断念せざるを得なかった。やはり母親だけで2人を見るのが多く、大変さが身に染みている。そこで、今後のためにも、こういうケースの場合こども園で預かってもらえるよう配慮を願いたい。

子育てをする上でおむつが必須である。他町では毎月おむつ券が配布されているところもある。ぜひ、印南町でも実施してほしい。

図書館の本の量が少ない。

ひまわり教室等、毎週火曜日だけでは利用しづらい。

医療費の無料化や、ゴミ袋の配布など、金銭面での支援はとても充実しており、とても助かっている。あとは、子ども（特に未就学児）が気軽に遊びに行ける場が増えると助かる。例えば御坊市や日高町等は、1日中、常に開放しているスペース（支援センター）がある。

平日の午前中にいなみっ子交流センターを開放してほしい（室内）。現状では、平日の学童保育を行う14時頃からは開いていない。できれば火曜日のサークル以外の日にも室内を開放してもらえると、子どもが雨の日や寒暖差に関係なく遊ぶことができ、とてもありがたい。小学校の夏休み短縮は他の市町村でも実施しているが、冬休みは短縮しなくてもよいのではないかなと思う。授業時間数の確保や学力向上の面については仕方ないが、リフレッシュすることも大切なことかと思う。よろしくお願いします。

土曜日のこども園の利用も夕方までであると助かる。仕事も1日あるし、仕事の合間に見ている状態なのでなかなか難しい。周りでも土曜日も夕方までであると助かるという話はよく耳にする。仕事は半日にならないので検討をお願いします。

子育て支援センターがほしい。平日の昼間にいつでも母子が遊びに行って交流できる場所がほしい。町内に遊びに行ける公園や室内施設がない。浜公園か町外の運動公園くらいである。児童館のようなところ、子育て支援センターとして、いなみっ子交流センターを開放してほしい。

とても支援していただいていると思う。今年度から始まった新事業も多くてありがたい。

同世帯に一定の所得がある人は、児童扶養手当がもらえないといわれた。シングルなのだが、実家を出て暮らそうかと思った。実家を出て暮らすなら職場に近いところに住もうと思ったが、そうすると印南町を出てしまうことになり、手続き制度の変更など気になることがたくさんある。私が世帯主になり児童扶養手当をもらって生活するか、実家にとどまるかで悩んでいる。

印南町は、子育て世帯が住むアパートや新居を建てるのに適した利便性、安全な分譲地がなく、子どもが増えたり、大きくなると印南町から引っ越すことを考えざるを得ない。子どもが減っていく中で、今後、教育・保育環境がどうなっていくのか心配である。

子どもたちが思い切り遊べる公園や、屋内施設などが町内にあれば嬉しい。子育てに対する施策がたくさんあるのでとても助かっている。ありがたい。

自由意見
あまりにひどい病気の時は、もちろん自宅でみるが、こども園が預かってくれない微熱等がある時等に、印南町内で、病児・病後児保育をしてほしい。今、北出病院までだと遠くて仕事の時間に間に合わない。
子育て支援センターの開設、町内の病児保育をお願いしたい。
美浜町では、多く産むとお金がもらえると聞いた。出産時祝い金として1人目1万円、2人目3万円、3人目5万円など、祝い金システムを導入すれば子どもを産む人が印南町へとならないだろうか。
印南町に仕事場がない。スーパーが印南町印南にしかない。
気軽に行ける公園がほしい。
公園などの施設がほしい。
共働き世帯で親元が近くになくて急に子どもが病気・怪我になったらすぐに迎えに行けない人もいると思う。有料でもいいので、子どもの一預かりや送迎をしてくれるサービス事業所があれば安心して働ことができる。
町内で子どもが安心して遊べる芝生のある公園がほしい（自転車の練習ができるように）。
よくやっていただいていると思う。
公園が少ない。近くにない。保育園（こども園）バスだが、もう少し利用しやすいよう、バスの停まる場所を増やし、色々な所を回ってほしい。遠い。保育園（こども園）の運動会は、雨の場合順延してほしい。体育館ではちょっと嫌である。並ぶ場所も変わってわからず、ダンスもバラバラになり（子どもたちが迷っている）見られない。
小児科の医者を印南町にお願いしたい。児童館がほしい。ママが切り盛りする必要があるサークルは不要である。企業の誘致、通勤時間が短い所で就職の選択肢が必要である。
子どもの遊び場所（公園・室内遊び場）がない。外に連れて行ける所がほしい。マタニティヨガ・産後ヨガの助成をして、町として取り組んでほしい。認定こども園の園庭開放や公開保育をしてほしい。
利用料を払って、土日祝日の預り保育を実施してほしい。田辺市では、働くお母さんのための保育園があり、少々の体調不良でも見てもらえるそうである。土日祝日も利用料を払えば利用できるらしく、とてもうらやましい。子どもが小さい時、周りに気軽に頼める人がいなかったのが本当に大変だった。
子育て支援をしてもらっているので、子どもとの生活もスムーズにできている。今後は、もっと子どもが増えていけるように、若い世代の人達が暮らしやすいサービスをしてもらえると人口も増え、子どもも増えていくと思う。
印南町は高校に行くのに必ず電車通学になる。その負担が大きいと思うので、旧役場から各高校にバスを設置してはどうか。
働く場所と病院があるとよい。あまり職種を選ばず、町外に働きに出て、子どもが発熱したという電話で町内に戻ってきても、小児科の病院が少ないので、また町外に出る。とても疲れるし、子どもにも負担が大きい。また、小児科があっても高齢者が多くてなかなか診てもらえない。大人なら多少待てるが、小さな子どもを連れて病院で待つのは大変だ。
大きめの公園がない。子どもを遊ばせられる施設がないのに、「子育てするなら印南町」にはならないと思う。毎日開いている施設がないから、0歳児のハイハイしている歩けない赤ちゃんは家にいるしかない。1歳からでも公園もないし、雨の日に利用できる施設がないので、家にいるしかない。もしくは町外の施設を利用している。住みたい人はたくさんいると思うが、住む場所や家を建てる場所がない。
こども園はとてもよい。しかし、町内に1つしかないのも、もっと色々な選択肢があってもよいのかなと思う。プレ保育のある幼稚園や、習い事をしているところがあったりするととてもよいのではないかなと思う。

自由意見

インフルエンザの予防接種が無料だとよい。

こども園の土曜保育、小学生の学童の土曜日を、1日見てもらえるようにしてほしい。町内の保育園が1つしかないため、他の市町村に比べると選択肢がなく、共働きの家庭には難しい時がある。

公園、図書館などの公共施設の充実を図ってほしい。遊ばせる場所が少ないと思う。交通安全の確保のために、歩道を整備してほしい。

印南町は就学前の子どもにとっては本当によく、まさに「子育てするなら印南町」だが、小学生になるとメリットが少ない。通学バスの兼ね合いや、地域の交通手段が不十分で、教育（習い事）を満足に受けることが難しい。実際に地域の中学校に進学しない人もいる。地域の中学校への進学を考えている人もいるが、私は地域外を考えている。もっと、話を聞くだけではなく、重い腰をあげてほしい。昔とは時代が違う。保護者の意見に耳を傾け、ともに歩み、物事を変えていってくれるようお願いしたい。

小児科・皮膚科・内科など、医療機関を町内に設置してほしい。児童館を設置してほしい。

助成金や相談室は多いが、町内に頼りになる小児科がない。健康な子には大きな問題ではないが、医者にかからなければならぬ子は思いのほか苦労している。また、通学路では子どもの動きが危険な場合もあるが、車の運転者の気配りがないと感じる。横断歩道などでの一時停止がされない。運転者への教育も必要と思う。

広くて本の多い図書館がほしい。夜間など小児救急の受け入れが和歌山市で遠いので、近くにほしい。通学路などに防犯カメラを増やしてほしい。こども園の保育料決定のために所得に関する書類を提出するが、3歳児以上が保育料0円ならば書類は不要ではないか。また、3歳児未満についても税務課で所得がわかる人は、同意するので確認してほしい。七夕やクリスマスの園児が参加するコンサートは、日中に行うか別のイベントを企画してほしい（園児参加ではない、コンサート、ミュージカル、講演など）。見に来るのは保護者ばかりで特に必要性を感じないし、帰りが遅くなると困る。園や学校で英・数・国などに力を入れた取組を実施してほしい。放課後や土日に小学校・中学校の子どもに、塾のような勉強ができる所を作してほしい。子育て世代向けの制度、イベントがわかるパンフレット、わかりやすいホームページを作してほしい。小中学生の通学時の安全が不安なので、交通・防犯など色々な面で対策をとって、具体的に示してほしい。

小学生児童保護者

自由意見
公民館をもっと図書館化していけないだろうか。小児科医療機関が町内にほしい。
小中一貫にし、障がいのある子も同じ環境で学び、集団生活が送れる配慮が必要かと思う。支援学校ありきで物事をみるのではなく、印南町の子は全て印南町で育てるということが必要ではないかと思う。もっと色々な目を向けてほしい。
上記12項目の内、多くが充実しているとは感じられない。すべてを充実していくのは難しい、どれも中途半端になりそうだと思うので、各学校で「これは他校に負けない」という思いと、取組をしてほしい。行政にしても観光にしても、子ども達へのイベントも、何においても印南町はパンチがないように思えてしかたがない。隣近所の真似でなく、印南町に合った、あるものを活かしつつ、新しい目で色々試し、本当に印南町をよくしたい、という思いで働いてもらいたい。
今も楽しく通学しているのでこのままでよいと思う。最近は土日にクラブや習い事の行事が入っている子が多いので、地域の催し等は、これ以上難しかったりする。少子化もあり古紙回収等の保護者の人数が減り、回収も以前より大変になってきた。学校の活動をする上での収入ということになるが、観劇鑑賞など高額になるものは町から援助してもらえれば、と思う。
運動会や文化祭など、町内の学校が一緒に参加する行事があってもよいと思う。
新しいことを取り入れたり、実行したりするのが遅い。町職員全体の意識改革が必要である。特に50代以上の職員は、もっと時代に合った生活をイメージできるよう勉強してほしい。
病児・病後児保育が利用できればよいと言っているお母さんの話をよく耳にする。
印南町における子育ての環境はすごくよいと思う。第三者から見るとこども園の先生方の負担がありすぎのように思う。イベントには必ず参加しているが、せっかくの休みの日にもイベントをされているのを見ると大変だと思った。教育委員会のおかげで子育てのしやすい環境があることをありがたく思い、感謝している。
放課後自宅で一人で過ごす時間が長く、宿題をせずにゲームばかりしているため、規則正しい生活をさせたいが、自分が仕事をしている以上、不可能だと思っている。家庭教師のようなボランティアサービスがあって、子どもの宿題を見てくれたり、習い事の送迎等してくれるサービスがあればよいと思う。また、子ども食堂のような夕食サービスがあると助かる。学童を低学年の時利用したが、夏休み等昼の弁当を持たせるのに苦労した。お弁当が注文できるシステムがあると助かる。
夜間や休日に医療機関へ行きたい時、和歌山市内の急病センターまで、印南町民というだけで、行かなければならない。「0738(42)」の番号で、紀南病院でも和歌山市へと伝えられる。和歌山市より田辺市の方が近く、高熱や乳幼児を連れて行くのは高速を使ってもかなり遠い。教育委員会からも県へ働きかけをしてほしい。日高病院は救急車でないと診ないということだ。
色々な施策をされているのだと思った。引き続き充実させてほしい。
英語やパソコン教育等これから重きを置くことに関して重点的にやっていってほしい。町イベントや学校イベント等、日程構成が重なったり、おかしいのではないかと（以前のクリスマスコンサート等）と思うものが結構ある。教育委員会や町の各課でちゃんと調整しておいてほしい。稲原の先生の件もあるので、定期的にヒアリングをしてほしい。
小学校も中学校も統合すべきである。こども園でお友達と離れ離れになるのは、かわいそう。小学校に行く時、友達と離れる時に号泣した。すぐにでも統合してほしい。
印南町から教育に関するアプローチを受けたことがなく、アンケートに答えるのみで、この地域の子ども達のことは少数だから無視されている。ただ、町民としての受けられる事業は提供してくれているので満足はしている。小中学校の第3子給食無料化も他地域では数年前から行われているので、印南町でされていないのが、少し意外に思われる施策の1つである。
心を育てる事業にも力を入れてほしい。

自由意見

スクールバスは17時・18時・19時などがあれば、塾が終わった後でも十分に安心して帰ってこられる。また放課後のスポーツにおいても、共働きだと送迎ができないため、入れさせることができない。スポーツはあまり親がべったり行かない方が、他の父兄の方にもよいし、トラブルも少なく感じる（小中学校ともに）。重要：防犯カメラを1キロメートル単位でつけてほしい。緊急時、紀南病院にも行けるようにしてほしい。

「子育てするなら印南町」、うらやましいの一言は他市町村から聞いたことはない。

地域、地区の決まりごとが多く、子ども達を置いてまで出席せざるを得ず、寄付という名の集金・会費等々、昔ながらの行事はやめてほしい。ゴミもその辺で焼くし、畑の肥料は臭いし、早くこんな町は出ていきたいと思っている。田舎ほど住みにくいとは知らなかった。住宅のことも考えてほしい。

長期休暇（夏休み・冬休み）を短縮し、授業日数を確保する取組がとてもよいと思う。中学校で英語を教科として学び始めると、文化・文法に違いなどに子どもはとても戸惑うようなので、小学校のできるだけ早いうちから英語に触れられるように（英語に対して拒否反応を起こさないように）、英語教育の充実を望む。英語は世界の標準語だと思うので、小学1年くらいから授業としてあってもよいのではないか、と個人としては思う。

エアコンを設置してくれたので、子ども達の勉強する力がわいてきた。子どもの医療費においてもありがたい。

P T Aの廃止を含めた変更を求める。特にP T Aのバレー大会等はかなりの負担となっている。自身が役員となり、資料等のデータがなく、USBを会費で購入し、対応した。自分達が終われば後はどうでもいいという子どものための組織ではなくなっている。

こども園で町内の子どもが全員集まって仲良くなるのに、小学校で離れ離れになってしまうので、もっと町内の小学校・中学校の交流を増やしてほしい。中学校の町内駅伝もなくなると聞いた。

地域の連携がもっとほしいと思う。印南町役場内の横のつながりも、もっとほしいと思う。

問23で中学校統合についての質問があったが、小学校からの統合の検討も必要ではないだろうか。こども園で一緒に過ごした同級生みんなが小学校へ就学できる方が、子ども達の不安も軽減され、スムーズに入学・小学校生活、と過ごしていけるのではないかなと思う。

印南町に移住して3年だが、子育てするなら、という感じはしない。今はどこの市町村でもそんなに変わりなくできると感じる。もっと、印南町には何があるか、と学校の教育を通じて学ぶのもよいかもしれない。色々なことに触れあいながら学んでほしいと思う。

経済的な支援はとても素晴らしいと思う。教育内容については近隣の大きな小中学校と比べて遅れているように思う。基礎基本の徹底にとどまらず、発展的な学習を促進してほしいと思う。現状では校外の通信教材や塾などに頼らざるを得ない。

正直、「子育てするなら印南町」というフレーズは現実と程遠いように思えることばかりである。こども園を卒園した後の小学校生活には地域差（例えば、印南と清流地区）がありすぎ、利用できるものも限られているし、ファミリーサポート制度もない中では、習い事などもあきらめることも多く、各家庭での差もかなり大きいと思う。子どもたちへの環境整備を本当に整えるなら、各地区ごとの問題を取り上げるような場や意見を具体的に伝えられる受け皿が必要だと思う。

印南町内に学童が1つしかないというのは、送迎なども含めてとても不便である。長期休暇時に利用させていただいているが、真妻から送って行き、御坊市へ出勤し、夕方にまた往復するのがとても負担が大きい。清流小のプール後に学童行きのバスを出して頂くなど検討してもらいたい。

夫婦共働きで不定休のため、土日祝日に仕事をする時も頻繁にある。他市町村では、利用料を払って、土曜の午後、日曜、祝日でも子どもを預かってもらえるとのことである。子どもがまだ小さい時は、本当に大変であった。土日・祝日預かっていただけたら本当に助かる。

自由意見

印南町に住んで10年になるが、子育てはとてもしやすく感謝している。しかし、病児保育ができるのがもう少し早ければよかったと思う。下の子どもが年中だが、必要であった2、3歳児の時になく、仕事を休まなければならなかったので苦労した。病児保育は、本当に助かる。これから必要とされる親の方々には使ってほしいと思う。上の子の時は、こども園ができるまで院内保育だった。

印南町の地名の出るような悪いニュースは本当にやめてほしい。本当にショックで、学校の信用に係る。

公園など子どもが遊ぶ場所が近くにない。登下校時、変な人が最近多いので、見回りなどしてもらいたい。また、危ない所などは先生に立って見守ってもらいたい。

若い先生方も増えている昨今、子どもたちとの距離も縮まりいい所もあると思うが、卒業してすぐ担任を任せるといふのには疑問を感じる点も多々ある。一般企業においても社会人としての心構えや責任感、言葉遣いなど研修期間には様々なことを学ぶ。教育者となるとそれに加えあると思う。補助について研修する期間を一定期間設けたり、研修後担任業務につくことを徹底するなど考えていただきたい。小学校生活でも1年間はとても貴重なものと思うので、町の問題として検討していただきたい。

印南町は他の町村に比べ、色々と政策を行ってくれているのでありがたい。ただ、海岸部は津波の問題、山間部は買い物へ行くのも一苦労である。安心して永住すべきよい場所がないのが考えものである。

5～6年も前に他の市町村で先生をしている友人から印南町の教育委員会は他の市町村の教育委員会よりも仕事がしづらいらしいと聞いた。予算があるからか、先生方も自腹で色々用意している等の話を聞いた。先生方とどんな些細なことでも相談できるような、よい関係ができていないのではないかと。保護者と教育委員会との関わりも少ないように思える。日々の仕事が多すぎて、子どもの教育や保護者との関わりを疎かにするのなら、「子育てするなら印南町」のスローガンは外したほうがいいと思う。また、子どもの教育は学力だけではないと思う。印南町の子は他の地域の子よりも心が狭いと感じている。役場の職員も人を待たすのが平気であるし（朝礼が終わるまで放置されたことがある）、私の前を走っていた町の名前の書いた軽トラが大きな木の枝を落とした事を電話で伝えても「大丈夫でしたか」など、相手を気遣う言葉の1つもでない。こちらのことを気にかけてくれるような職員は10人いるかいらないか。こんなに自然豊かでいい所なのに、子どもの心が成長しないのは残念だと思う。こども園の先生や学校の先生は私の地区ではすごく頑張ってくれていると思っているし、感謝している。

いなみこども園は、認定こども園といっているが、幼児教育はしないと、通っている時担任の先生にいわれた。町内にひとつしかないこども園、選べないのが（他に園がないのは）どうかと思う。選ばせてもらえないのなら、もっと充実させてほしいと思う。小学校に入る前、幼児教育を受けている子といない子に差がある。私は個人的に子どもに幼児教育を望んでいたのととても残念であった。

道徳教育の充実について、力を入れて取り組んでほしい。勉強よりも常識が最も必要と感じており、短絡的な考えを少しでもなくしてほしい。

印南小学校区の放課後子ども教室と切目小学校区のそれとで実施回数が違うと聞いた。印南町も、もっと（できれば月～金の毎日）やってくれば、必要な曜日だけ行くのにとと思う。宿題をする場を提供してくれるだけでよい。

I C Tやプログラミング教育の充実。

学童保育の利用料が一定なのはどうか。収入に応じて金額を決めてほしい。

自由意見

エアコンがついても、登下校の時間帯(特に下校時)はとても暑いので、家の人が送迎したりと各家庭で工夫はしているが、特に低学年の子たちは大変だと思う。十数年前からお願いしている通学路の整備(旧紀州ファスナー(現ブラ和歌山)の前の溝)を未だにやってくれていない。とても危険で子どもたちがはまってけがをしたり、帽子などを落としてしまったりしているのに、どうしていつまでも放っておくのだろうか。

子育てするのなら印南町などとの口が言っているのかと皆言っている。公園・塾・児童館・コミュニティバス・学用品を買う店・病院など、何もない。いちいち御坊市へ出るので、ガソリン代がかかりすぎる。仕事も印南町にはない。印南町が変わろうとしていないから発展しない。教育委員会にやる気がないので、学校はだめすぎる。教育委員会をすべて変えるべきだ。「住みにくい田舎印南町」に変えるべきだ。ガソリン代がかなりかかる。町では自転車で行ける塾や習い事もすべて親の送迎だ。親が共働きの家は習い事もできず、良い人材は外に出て戻ってこない。先生も役場もお役所仕事で印南町がよくなるわけではない。南部のようにコミュニティバスをたくさん出してほしい。役場行はらないので、御坊市行きをお願いしたい。自分の子どもの送迎、自分の仕事、親の病院など、1日に何度も御坊市に出なくてはいけない日がある。時間的に親の病院は待ってもらったりしている。日高病院も近所の人には診察券を早く入れに行ったりできるが、遠いと長い時間待たないといけない。(何度も行けないため)。バスは時間が悪かったり高かったりして使えない。コミュニティバスのように安く「行き」だけでも行ってもらえると助かる。地元から離れたことのない人は「印南町は変わらないから無理」と最初から変えようとはしない。役場も動かない。なぜなのか。町長は田舎の人なのに不便を感じていないのか。他県から嫁に来た人はみな「住みにくい」と言っている。

子育てするなら、とうたっているが、近くに小児科専門の病院がなく、御坊市まで行ったりと、子どもが小さい頃は時間を取られた。小児科と耳鼻科が町内にあって、子どもが熱を出したりしても、長時間運転せずにすませたいと思った。部活動指導員配置よりは団体競技ができる人数になるようにうまくいかないかと思っている。

4. 用語説明

索引	用語	解説
ア	ICT	Information and Communication Technology（インフォメーション・アンド・コミュニケーション・テクノロジー／情報通信技術）の略。
キ	基本指針	子ども・子育て支援新制度の下、教育・保育の提供体制の確保及び地域子ども・子育て支援事業の実施に関する基本的事項並びに市町村子ども・子育て支援事業計画及び都道府県子ども・子育て支援事業支援計画の作成に関する事項などについて定め、教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業を提供する体制の整備その他子ども・子育て支援のための施策を総合的に推進するための指針で国が定めたもの。
	教育・保育施設	「認定こども園法」第2条第6項に規定する認定こども園、学校教育法第一条に規定する幼稚園及び児童福祉法第39条第1項に規定する保育所のこと。（子ども・子育て支援法 第7条）
	居宅訪問型保育事業	主に満3歳未満の保育の必要な乳児・幼児を対象とし、当該保育を必要とする乳児・幼児の居宅において家庭的保育者による保育を行う事業。（児童福祉法第6条の3第11項）
コ	子ども・子育て支援新制度	平成27年4月からはじまった「認定こども園」の普及や地域の様々な子育て支援の充実など、多様な保育の確保により、待機児童の解消に取り組む、子育て中のすべての家庭を支援する制度。子ども・子育て支援新制度では以下のような目的が掲げられている。 ○ 質の高い幼児期の教育・保育の総合的な提供 ○ 保育の量的拡大・確保、教育・保育の質的改善 ○ 地域の子ども・子育て支援の充実
	子ども・子育て関連3法	子ども・子育て支援新制度に関わる3つの法律を総称して子ども・子育て関連3法と呼ぶ。 ○ 「子ども・子育て支援法」 ○ 「就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律の一部を改正する法律」 ○ 「子ども・子育て支援法及び就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関連法律の整備等に関する法律」

索引	用語	解説
シ	次世代育成支援対策推進法	次世代育成支援対策について、基本理念を定めるとともに、国による行動計画策定指針並びに地方公共団体及び事業主による行動計画の策定等の次世代育成支援対策を迅速かつ重点的に推進し、次代の社会を担う子どもが健やかに生まれ、かつ、育成される社会の形成に資することを目的とする法律（平成15年7月に公布）。
	市町村子ども・子育て支援事業計画	5年間の計画期間における幼児期の教育・保育・地域の子育て支援についての需給計画をいい、新制度の実施主体として、特別区を含めた全市町村が作成。（子ども・子育て支援法 第61条）
チ	地域型保育事業	小規模保育、家庭的保育、居宅訪問型保育及び事業所内保育を行う事業。（子ども・子育て支援法 第7条）
	地域子ども・子育て支援事業	子ども・子育て支援法第59条の規定により定められた以下の14の事業をいう。①利用者支援事業、②地域子育て支援拠点事業、③妊婦健康診査、④乳児家庭全戸訪問事業、⑤養育支援訪問事業、子どもを守る地域ネットワーク機能強化事業（その他要保護児童等の支援に資する事業）、⑥子育て短期支援事業、⑦ファミリー・サポート・センター事業（子育て援助活動支援事業）、⑧一時預かり事業、⑨延長保育事業、⑩病児保育事業、⑪放課後児童クラブ（放課後児童健全育成事業）、⑫子どもを守る地域ネットワーク機能強化事業、⑬実費徴収に係る補足給付を行う事業、⑭多様な事業者の参入促進・能力活用事業
ト	特定教育・保育施設	市町村長が施設型給付費の支給に係る施設として確認する「教育・保育施設」。
二	認定こども園	認定こども園とは、学校教育・保育及び地域における子育て支援を一体的に提供する施設。幼保連携型、幼稚園型、保育所型、地方裁量型の4類型がある。特に幼保連携型認定こども園は学校及び児童福祉施設としての法的位置づけを持つ単一の認可施設となる。

みんなが輝く「いなみっ子」未来プラン

第2期印南町子ども・子育て支援事業計画

印南町次世代育成支援行動計画

発行日：令和2年3月

編集・発行：印南町教育委員会 教育課

〒649-1534

和歌山県日高郡印南町大字印南 2009 番地の1

TEL 0738-42-1700（直通）FAX 0738-42-1577